

2.これまでの調査について

2-1 水環境

水質

平成 15・16 年度 現地調査計画 目的・方法・時期・対象範囲

調査の目的

平取ダム建設にあたり、額平川および宿主別川の水質の現況を把握するために水質調査を行います。なお、額平川は環境基準 A 類型に指定されています（昭和 47 年 4 月 1 日 道告示第 1093 号）。

調査の方法・時期・対象範囲

調査項目	調査方法
水質	月 1 回の頻度で、水質調査を行います。調査項目は、水の濁り 水温 富栄養化 溶存酸素量 水素イオン濃度および環境基準に関連する項目とします。調査箇所は、 額平川：額平川上流地点・幌見橋地点・平取ダムサイト地点・貫気別 宿主別川：第 2 号橋地点 貫気別川：コタン橋地点 の計 6 地点で実施します。

調査日程・実施状況

調査時期	実施状況
平成 15 年 4 月～平成 17 年 3 月	今年度は 8 月調査まで終了。 ただし、台風 10 号の影響による林道の決壊等のため、8 月欠測（額平川上流地点） 調査位置変更（第 2 号橋 宿主別橋）

調査の対象範囲



2.これまでの調査について

過年度および今年度調査結果

H11年、12年調査結果（平成11年12月～平成12年11月）

融雪期や増水によるSSの基準値超過が認められますが、平均値はすべて基準値を満足しております。なお、有害物質などの健康項目はすべて基準値以下であります。

平成11,12年調査結果の概要（生活環境項目）：平取ダムサイト

調査項目	最小値～最大値（平均値）	環境基準A類型
水温（ ）	0.3 ～ 17.5 (7.2)	-
pH	7.4 ～ 8.1 (7.7)	5.8以上8.5以下
DO (mg/l)	9.5 ～ 14.6 (12.3)	7.5以上
BOD (mg/l)	<0.5 ～ 1.4 (0.6)	2以下
SS(mg/l)	<1 ～ 152 (25)	25以下
大腸菌群数 (MPN/100ml)	13 ～ 490 (120)	1,000以下
T-N (mg/l)	0.08 ～ 0.44 (0.25)	-
T-P (mg/l)	<0.003 ～ 0.019 (0.007)	-

H14年度調査結果（平成14年4月～平成15年3月）

融雪期のSSが基準値を超過しておりますが、その他の生活環境項目および健康項目はすべて基準値を満足しております。

平成14年度調査結果の概要（生活環境項目）：平取ダムサイト

調査項目	最小値～最大値（平均値）	環境基準A類型
水温（ ）	0.4 ～ 20.0 (9.0)	-
pH	7.6 ～ 8.2 (7.9)	5.8以上8.5以下
DO (mg/l)	9.6 ～ 15.0 (12.2)	7.5以上
BOD (mg/l)	<0.1 ～ 1.0 (0.3)	2以下
SS(mg/l)	<1 ～ 100 (11)	25以下
大腸菌群数 (MPN/100ml)	2.0 ～ 490 (180)	1,000以下
T-N (mg/l)	0.19 ～ 0.52 (0.31)	-
T-P (mg/l)	<0.003 ～ 0.069 (0.011)	-

H15年度調査結果（平成15年4月～8月調査まで）

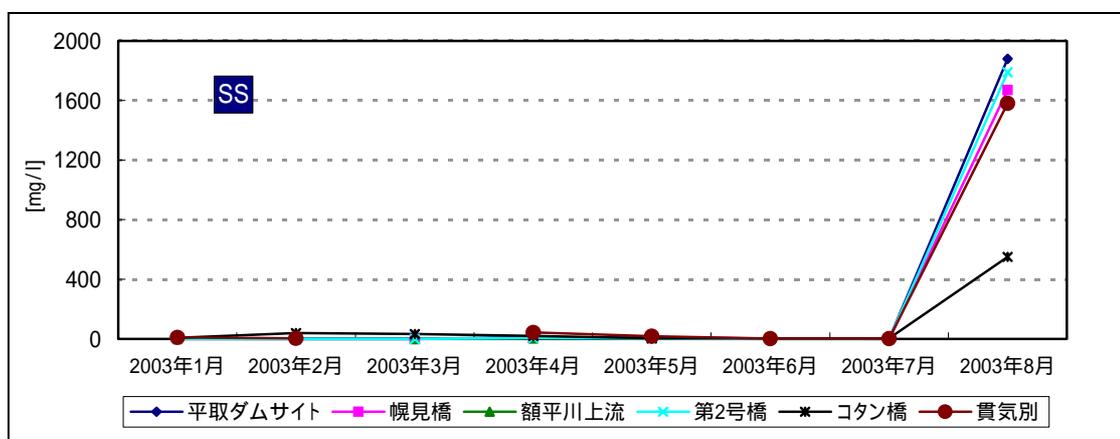
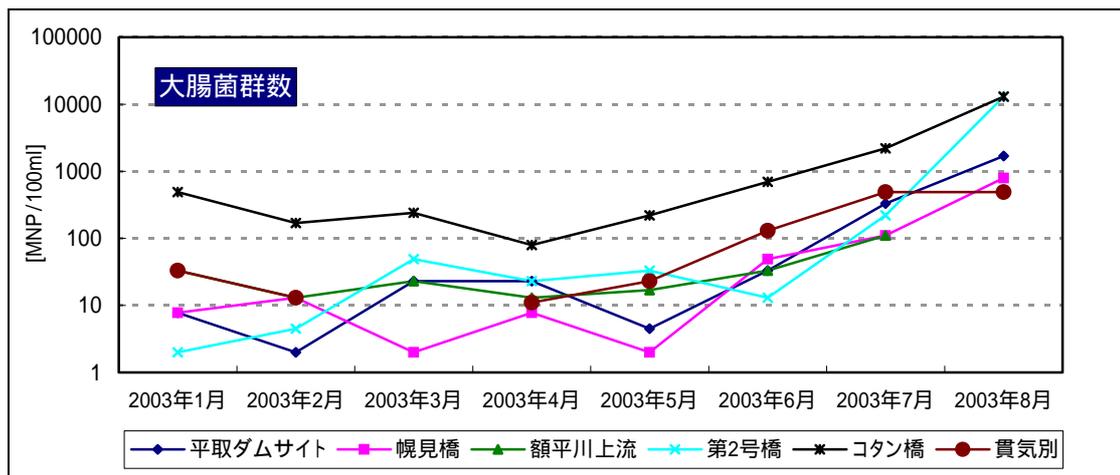
平成15年度調査結果の概要（生活環境項目）：平取ダムサイト

調査項目	最小値～最大値（平均値）	環境基準A類型
水温（ ）	9.5 ～ 23.2 (16.4)	-
pH	7.8 ～ 8.3 (8.0)	5.8以上8.5以下
DO (mg/l)	8.8 ～ 12.1 (10.2)	7.5以上
BOD (mg/l)	<0.1 ～ 0.6 (0.3)	2以下
SS(mg/l)	<1 ～ 1,880 (381)	25以下
大腸菌群数 (MPN/100ml)	4.5 ～ 1,700 (420)	1,000以下
T-N (mg/l)	0.14 ～ 0.40 (0.29)	-
T-P (mg/l)	<0.003 ～ 1.68 (0.343)	-

特記事項

今年度の調査では、8月9日より台風10号による過去最大の洪水に見舞われ、その影響が8月調査から続いており、10月現在に至ってもなお濁水が流下している状況であります。

大腸菌群数およびSSの経月変化



2.これまでの調査について

牧場排水	
平成 15・16 年度 現地調査計画	目的・方法・時期・対象範囲

調査の目的

平取ダム建設にあたり、流入負荷量を把握するために、特に近接する放牧地からの水質調査を行っております。

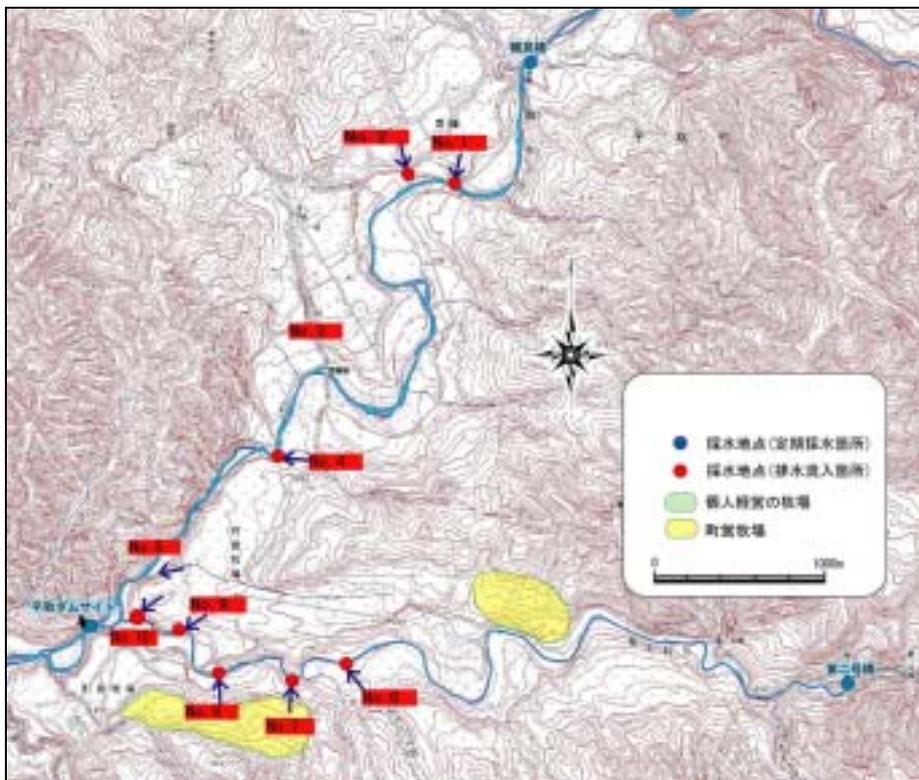
調査の方法・時期・対象範囲

調査項目	調査方法
水質	降雨後 4 回の頻度で、水質調査を行います。調査項目は、水の濁り 水温 富栄養化 溶存酸素量 水素イオン濃度および環境基準に関連する項目とします。 調査箇所は、 額平川：幌見橋地点・平取ダムサイト地点 宿主別川：第 2 号橋地点 流入する放牧地の沢水（以後、沢水と呼ぶ） 10 箇所の計 13 地点で実施します。

調査日程・実施状況

調査時期	実施状況
平成 15 年 4 月～平成 17 年 3 月	第 1 回 平成 15 年 7 月 3 日実施【平水時】
	第 2 回 平成 15 年 7 月 11 日実施【豊水時】
	第 3 回 平成 15 年 8 月 5 日実施【降雨後（豊糠 累計 51mm）】 （クリプトスポリジウム試験含み）
	第 4 回 10 月実施予定【豊水時】

調査の対象範囲



今年度調査結果

調査結果

平成 15 年 7 月 3 日、7 月 11 日および 8 月 5 日に実施しております。第 4 回目調査は 10 月の予定です。

沢水の No.1 および 9 地点で流水が確認されないため、欠測となっております。また、No.2、No.4、No.5、No.8、No.10 は全窒素がやや高い傾向にあります。

8 月 5 日にはクリプトスポリジウムの調査を実施しておりますが、沢水全地点で不検出となっております。

H15 年度調査結果 地点別 全窒素・全リン (平成 15 年 7 月～8 月)

